



ビッグベン内時計の精密ミニチュア



銀座和光時計塔の同サイズレプリカ



施設外観

院長のご近所探訪

～セイコーミュージアム編～

1981年の創業100周年記念事業により設立され、2012年にリニューアルした墨田区にゆかりの深いセイコーさんの博物館です。東向島駅から徒歩8分とアクセスも良い立地で、様々な時計の歴史等にふれることができます。

年頭所感

新年、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

当院は昨年7月から日曜、祝日の訓練も平日に準じて行う365日リハビリテーション訓練体制を開始しており、休日加算、充実加算の算定が可能となりました。また、今後は職員の協力のもと、回復期リハビリテーション入院料1の算定をめざして、日々努力しているところであります。この取り組みによりまして、入院患者さんには十分満足していただけるリハビリテーション医療を提供できるものと期待しております。

当院は平成2年6月に開院しましたので、今年で開設満28年を迎えます。28年の年月が経過しますと、病院の内装や設備にもところどころに支障がでてまいります。リハビリ訓練の患者さんや職員が使用する2台あるエレベーターのうち向かって右側の1台につきましては、今年の1月下旬より改修工事を開始する予定であります。約2ヵ月間の工事期間中にはリハビリ訓練に支障をきたさないように、各部署の協力体制のもと、対処したいと存じます。患者さんやご家族の皆様ならびにスタッフに

はご不便をおかけすることと思いますが、何卒、このような病院の事情をご理解のうえ、ご容赦いただければ幸いです。

また、今年の2月19日（月曜日）の16時15分より当院大会議室におきまして、東京都医師会長の尾崎治夫先生による「禁煙のすすめ」と題する講演会を、公開講座として開催する予定でありますので、皆様どうぞ奮ってご参加下さい。

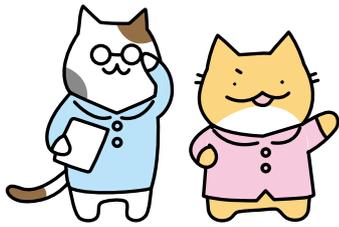
超高齢社会となりましたわが国では、急性期医療から在宅復帰へ繋ぐ使命をもつ回復期リハビリテーション医療の需要が、今後ますます増えてくることと思います。東京都を代表するリハビリテーション専門病院として皆様の期待に応えていくために、職員一同、医療のみならず、福祉・介護との連携推進をはかるという運営理念を心に銘記して励んでまいります。

今年一年、皆様方におかれましては、健康に十分ご留意の上、ご活躍下さるようお願いしております。なお、ひきつづき当院へのさらなるご支援、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

院長 新井康久

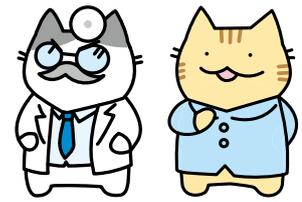
運営理念

リハビリテーションを通して患者さんが生きる喜びと希望を抱き、充実した人生をおくられるよう、医の原点に立った心温まる医療を提供し、福祉・介護との連携推進をはかる。



看護部の取組み ～あれ&これ～ご紹介

看護部長 竹下 礼子



1. 身体拘束を減らそう

殆どの病院のインシデント・アクシデントのベスト3は、ルート抜去、転倒・転落、誤薬となっています。当院のインシデント・アクシデント報告も同様です。安全を考えると「マーゲンチューブを抜かないようミトンと手の拘束」「転ばないよう拘束ベルト」等、身体拘束が増えていきます。当院はリハビリテーション専門病院で、リハビリ訓練時間以外は拘束されていることに疑問を感じ、拘束を減らす取組みとして昨年度、看護師に「体験型身体拘束研修」を行いました。理想は「身体拘束ゼロ」です!! 研修の体験内容は車椅子拘束、ベッドでの身体拘束、ミトン装着です。研修参加者は看護師81名中62名で参加率は76.5%でした。「人間の尊厳を守る大切さ」「医療者側だけの考えや都合で拘束されることが無いよう話しあっていく」「患者さんに対して申し分け無い」、「一人になると不安になり柵を叩く気持ちが分かった」等の感想があった一方、「ジレンマは消えない」との感想もありました。

研修実施前は「身体拘束実施ありき」で話し合いがされていましたが、研修後は「身体拘束以外の方法の選択」と「解除」に向けた話し合いがされるようになり、直接身体を拘束する方法と拘束期間が減りました。

平成29年4月から5階病棟、6階病棟は人員を増やして頂き、長年の夢であった3人夜勤体制が実現しました。この事からも「患者さんの尊厳を守る看護」を強化していきたいと思えます。

2. 活発な倫理課題の検討をしよう

日本看護協会から2003年に「看護者の倫理綱領」が出されました。

前文に「人々は、人間としての尊厳を維持し、健康で幸福であることを願っている。看護は、このような人間の普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献することを使命としている。」と記されており、15の条文が書いてあります。



看護は常に倫理を考える必要がありますが「倫理ってなんか難しい。」との声をよく聞きます。「人々の尊厳を維持する」ということは、ひとり一人の患者さんを大切にすることではないでしょうか。倫理課題は日々の看護ケア業務の中にたくさんあります。

まず、それに気づくために平成29年度は慢性疾患看護専門看護師の加藤かほり主任にご尽力頂き倫理研修を開催しました。対象者は全看護職員です。

そして各部署で倫理課題検討会を定期的に行うようにしました。

嬉しいことに検討会は看護師だけでなく医師、セラピスト、ケースワーカーの皆さんも参加して頂いています。都リハの職員の患者さんへの熱い思いを感じます。

これからも“患者さんに必要とされる”病院であるために「看護イノベーション」をおこしていきたいと思っています。

平成29年12月19日小池都知事が来院されました



第29回NPO法人日本リハビリテーション看護学会学術大会のご報告

開催日 平成29年11月10日(金)・11日(土)

会場 東京大手町 日経ホール

学会テーマ 「その人らしく生きるを支える」

参加者数 570名

演題数 口演35題 示説19題



昨年の5月、日本リハビリテーション看護学会の当時の理事長から、第29回学術大会の大会長及び大会事務局を都リハでお願いしたいとの依頼がありました。

当院は2007年に大会事務局を務めた経緯がありました。その際、準備に携わった看護師長さんが全員そのまま勤務しており、大変心強い思いで承諾しました。

まずは、会場探しと開催日程を決めました。会場探しは予算の制限もありなかなか大変なことでした。次に学会テーマの決定です。リハビリテーション病院は地域包括ケアシステムにおいて、患者さんが地域で生活できるよう多岐にわたり支援をしていく必要があることから「その人らしく生きるを支える」としました。

ポスターも今までに無いデザインで親しみを持って頂けるようにしました。

プログラムの策定、講演テーマの決定、講師依頼、来賓の依頼、スポンサー集め、演題募集、査読依頼、会場の使用分け、シンポジウム依頼、名札の作成、出店依頼、懇親会会場、懇親会の進行等々…たくさんの業務がありました。

今回は前回の「手作り学会」とは異なり、業務を補佐する業者に入ってもらい、業者が学会のHP作成や演題・学会参加の募集、講師への依頼文の発送、抄録の作成、発送、当日の進行支援等を行いました。

54題の演題発表があり当院からは6題発表しました。5階病棟の野寺めぐみ主事が発表した「脳出血により片麻痺となった患者に対する小学校への復学支援」(共同研究者：地域リハ科加藤かほり主任、今城博子師長)が優秀演題に選ばれ、大会事務局病院として花を添えていただきました。

参加者のアンケートでは「講演内容がとても良かった」「テーマがタイムリーだった」「楽しい学会だった」等、ポジティブな感想ばかりでした。

東京都医師会の尾崎会長をはじめ職員の方のご協力・ご支援のもと無事に開催できましたことを感謝申し上げます。特に、蟻田科長補佐には準備から全般にわたり多大なる活躍をして頂きました。

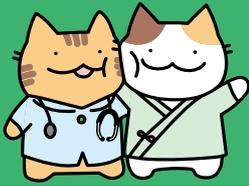
日本リハビリテーション看護学会、荒木暁子理事長から「都リハの団結力を感じた学会でした。」とお言葉を頂き大変嬉しく思いました。

皆さま!! 本当にありがとうございました!!



東京都医師会 尾崎会長





仲間がいると心強い！ ～社会生活力訓練Symphoとは～

言語療法・心理科 臨床心理士 主任 築山 裕子

脳卒中や頭部外傷を起こした後に、記憶力や注意力などの認知機能が低下したり、ちょっとしたことで怒りやすくなる・欲求が抑えられなくなるなど感情や行動のコントロールが難しくなったりする人がいます。こういった障害を高次脳機能障害といいます。当院では、2009年より毎年、この高次脳機能障害の患者さんを対象に、高次脳機能障害特別訓練（グループによる訓練）を行なっています。

この訓練の目的は、症状の改善や対処法の習得によって生活を送りやすくすること、ご自分の障害（ご家族にとっては当事者の障害）をよりよく理解し、前向きに生活する目標を作ることです。10人前後のメンバーで、みんなで脳トレや調理、運動などの活動をしたり、話し合いをします。この話し合いのプログラムを『社会生活力訓練Sympho（シンフォ）』と呼んでおり、これがこの特別訓練の“キモ”となるプログラムです。

Symphoという名前は、「みんなでSymphonyを響かせながら進歩しよう」という思いを込めて付けました。毎回メンバー1人の方が主役となり、ご自身のことや今後の目標を発表します。参加者はその目標に向けて「明日からできること」をアドバイスしていきます。ここで気を付けることは、発言は必ず前向きにプラス思考ということです。これはこの訓練を通しての約束事でもあります。メンバー、ご家族、スタッフの参加者全員がアドバイスをしたら、主役はその中から3つほど実行したいものを選びます。このアドバイスを実際に実行していくことで、1歩ずつステップアップして生活の幅を広げていけると考えています。

参加された患者さんからは「色々な意見をもらえてよかった」「頑張っている方を見て自分も頑張ろうと思った」「人に言った手前、自分もやらなきゃ」などメンバーとの良い相互作用が語られています。ご家族からも、「障害への理解が進み、家族での会話が増えた」「他のメンバーの『大丈夫だよ』という前向きな姿勢に救われた」と患者さんにとってもご家族にとってもプログラムの良い効果を感じている声が聞こえています。

臨床心理士から見ると、自分の状況を発表することは自分を客観的に見て、状況を相対化することです。そうして冷静に捉えることで、障害を負ったことや生活がうまくいかないことでの心理的な落ち込みが軽減される効果があります。また医療者からよりも、同じ患者同士のアドバイスは受け入れやすく、患者さん自身の力を引き出せる機会となっています。そして同じような状況にいる仲間と気持ちを共有することは、理解されにくい障害を抱えて感じる孤独感を軽くし、前向きに生きていく助けとなるのです。

何事も一人で抱えず、仲間を作る、『三人寄れば文殊の知恵』ですね。



お詫びと訂正

平成29年10月1日発行の『ほっとリハ』vol.18 ご近所ネットワークの記事におきまして、団体名称に誤りがありました。

(誤) NPO法人チームうめわか

(正) チームうめわか

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

ご近所ネットワーク

～まちづくりは、地域がつながることからはじまる～

NPO法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会 事務局長 牛久光次

私たちの住む（事業している）街だから、皆それぞれに、この街に愛着を持っていますね。

自信をもって「素敵な街だね」と思いたいし自慢もしたい。だからこそ素敵で魅力あるまちづくりを目指し活動しています。

「NPO法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会」長いので、通称名はひらがなで「てらたま」。

地域がつながる活動、その1

地域名の付く「寺島なす」。関東大震災までは、墨田・東向島（旧寺島）地区で盛んに栽培されていた。

宅地化が進むにつれ幻と化した江戸伝統野菜。小ぶりで鶏卵大の大きさ。皮は固めだけど実がしっかりして熱を加えたとろみがでて美味。

約90年ぶりに幻だった寺島なすの種が発見されたのをきっかけに、地域の各家庭でプランター栽培をはじめ、イベントやキャラクター化など、様々な展開を行っている。なぜかそれがマスメディアの興味も引き取材も多い。記事や放送を通し、地元以外にも墨田区東向島界隈が紹介されるきっかけとなっている。それと共に、地域を超えた多方面との交流にもつながっている。



地域がつながる活動、その2

2016年に始まったアートイベント「すみゆめ」（通称名）に参加し「江戸に浸かる。」というイベントを開催した。

すみだ北斎美術館のオープンを前に、葛飾北斎の生きた江戸時代を感じたままに表現し、北斎を感じたい。そんなテーマで始まった。地域の各団体や住民と一緒に創り上げる過程を大事に、地域の手づくりを楽しむ。2年目となった今年は、いろいろな団体や個人が自



ら積極的に展開していくようになって来た。ことし特に象徴的だったのが「青果リレー」。寺島なすを聖火にみたくて片手に掲げ、各地域を聖火ならぬ青果でリレーしていく。ばかばかしさに目を細め、子供から高齢者を問わず、町会や商店街のほか、地域団体の方も参加してくれた。「聖火」ならぬ「青果」でもなく、それこそ「成果」といえよう。「江戸に浸かる。」がプラットフォームとしての位置づけになっていくことが、この地域の各団体や多世代の枠を超え、一緒に創り上げ、共に楽しみ、達成感も共有できる。そんな街のイベントとして今後も継続し、膨らんでいけることを期待している。

地域がつながる活動、その3

「まちなかだからこそ創りたい！ たもんじ交流農園」それは「イスからつながるプロジェクト」の街歩きから始まった。

石ころと雑草だらけの約200坪の空地。「地域のために活用してもらえるのであればどうぞ」と地主の多間寺さんのご厚意から始まった「まちなか農園プロジェクト」の具現化。

今年度、新しく創設された墨田区「すみだの夢応援助成事業」。これこそ私たちの想いを実現させるのにふさわしく、地域力を育む事業主旨にもぴたり当てはまる。この助成制度は、採択さえすれば一定額の助成金が貰えるわけではない。採択後でも自分達自らの力と熱意が必要だ。ふるさと納税を活用したクラウドファンディング。応援と共感を得るために、まずは自分達の想いを出し合うことから始める。地元住民への理解も欠かせない。説明会、講演会や採れたて野菜をつかった食事会などを通し、ちょっとした会話から人と人の距離を縮めていきたい。その活動こそが地域力を育む。やがて畑を利用する人々が顔と顔を合わせ、楽しい会話から地域の輪が広がっていくことを目指している。

そんな活動を通し、地域が少しずつでもつながっていくことが、魅力あるまちづくりの原点と捉えている。





平成29年度 後期 地域リハビリテーションセミナーの開催 テーマ：『健康生成論に基づいた 地域リハビリテーション』

日時：平成29年11月22日（水）18:45～20:30 会場：すみだ産業会館 会議室4
（主催：区東部地域リハビリテーション支援センター*1）

当研修会は、区東部（墨田区・江東区・江戸川区）のリハビリ専門職と看護師、地域包括スタッフなど関係機関職員を対象に、全7回シリーズで開催しております。

後期第2回目の研修会は、株式会社モノ・ウェルビーイング代表の榊原 正博氏をお招きし、『健康生成論に基づいた 地域リハビリテーション』をテーマにご講義いただきました。

普段聞きなれない“健康生成論”とは、“健康になる為の力・要因を強くする理論”で、寝たきりにならないように、身体機能を向上させ、生活行為ができるようにしようという考え方です。

アンケートでは、「考え方がとても変化しました。本日学んだ事で、退院後の生活に向けて私がやるべき事が少しだけ分かった気がします。（PT）」「参加や

活動の中で、普段のリハビリでは引き出すことのできない機能を引き出せるというのはすばらしいと思いまし

た。機能訓練にとらわれ過ぎず、リハビリを進めていきたいと思います（OT）」といった多くの感想をいただきました。

最後に、区東部地域リハビリテーション支援センターとして、地域の介護・福祉・保健・医療に従事される皆様へより良い研修会を開催し、地域リハビリテーションの普及・啓発に努力して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



研修会の様子

*1 区東部地域リハビリテーション支援センターとは

東京都では、地域リハ提供体制の連携強化を目的として、二次保健医療圏ごとに地域リハビリテーション支援センターを指定しています。区東部（墨田区・江東区・江戸川区）では地域リハビリテーション支援センターの拠点として東京都リハビリテーション病院が指定され、地域における様々な形で実施されているリハビリテーション事業を支援するため、研修会など地域リハビリに関する各種事業を実施しています。

区東部地域リハビリテーション支援センター 研修会 開催予定

① 第4回 リハビリ多職種連携研修会 ※多職種で構成されるグループに分かれ、症例検討を行います。

対象者 墨田区・江東区・江戸川区中心 医療・福祉・保健・介護・行政など関係職員

日時 平成30年1月26日（金）18:45～20:40 会場 すみだ産業会館 会議室1,2 定員 50名 費用 無料

※参加には事前のお申し込みが必要です。定員を超えてしまい、ご受講できない場合のみ、その旨連絡いたします。

平成29年度 地域リハビリテーションセミナー【後期】開催予定

対象者 墨田区・江東区・江戸川区のリハビリ専門職・看護師・地域包括スタッフ等

	日程	時間	テーマ（仮）	会場 （すみだ産業会館）	費用	定員
第5回	平成30年1月15日（月）	18:45 ～ 20:30	認知症患者のリハビリテーションの成否に関わる要因	会議室4	無料	65名
第6回	平成30年1月31日（水）		高齢者の“生きる”を整えるポイント～看護師の視点～	会議室4		65名
第7回	平成30年2月23日（金）		第2回地域ケア会議（模擬）を見学しよう！	会議室1,2		85名

※参加には事前のお申し込みが必要です。開催日が近くなりましたら、関係施設様へのご案内をFAXにて通知いたします。今までFAXによる開催案内の通知がなく、ご参加希望される場合やお問い合わせがある場合は、区東部地域リハビリテーション支援センター事務局（TEL:03-3616-8600 内線376）までご連絡下さい。

おもしろ体験記

Vol.4

オリオン座
流星群を追って



10月21日から1泊でソーシャルワーカー4名、事務1名+子供3名で八ヶ岳のネオオリエンタルリゾートへ行きました。きっかけは「流星群を見たことがない」と話した私に「みんなで見に行こう」と先輩に声をかけてもらったことでした。

流星群を目的に組まれた旅行でしたが、当日は台風が近づいていて雨が降っていました。雨でも楽しめるどころへとサントリーの工場見学やトンボ玉、シルバーアクセサリーの体験教室などへ行きました。トンボ玉は3つ中2つが完成後に割れる才能のなさを痛感しましたが、作る過程はとてもおもしろかったです。

コテージ宿泊では子供に紛れて部屋の中を探検した後、すき焼き、豆乳鍋を作りました。現地のお肉

や高原野菜が用意されていて、コテージならではの夜ご飯を楽しむことができました。

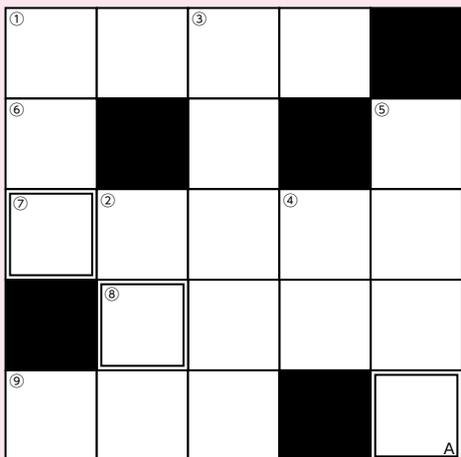
夜は子供たちが楽しみすぎてなかなか寝てくれないので、お母さん陣は大変そうでしたが（笑）病院ではない場所で皆さんと色々な話ができただのも良い思い出となりました。

流星群を見ることはできませんでしたが、とても充実した2日間になりました。なにより8月に入職したばかりの私を誘ってくれたことに先輩方には感謝でいっぱいです。八ヶ岳付近は流星群を狙わなくても星がきれいだそうです。次は天気のいい日にリベンジをしたいと思います！

地域リハビリテーション科 土岐美沙希

ほっとリハ クロスワード Vol.9

ヒントをもとにマス目を埋め、二重マスの文字をつなげてください



タテのかぎ

- ①アルファベットではABCですが、日本は
- ②〇〇〇は竜宮の潮吹きで有名です
- ③NHKのイメージキャラクター
- ④気持ちが晴れないこと
- ⑤白い小花が密生し、てまり状に咲く

ヨコのかぎ

- ①今年の干支は〇〇〇〇です
- ⑥小舟を漕ぐ道具。因みに櫂は2本使用する
- ⑦除夜の鐘を聞き終えて、近所の神社へ
- ⑧元は公家や大名の妻の敬称でした
- ⑨一般に吐く息と吸う息を表す言葉です



答え:

⑦ ⑧ A

前号の答え

カ ソ ロ

多数のご応募ありがとうございました

【応募方法】 はがきに①答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤ご意見、ご感想をお書きのうえ、次の応募先へお送りください。正解者の中から抽選で10名様にQUOカードをプレゼントいたします。

【締 切】 平成30年2月2日（金） 当日消印有効
※正解は次号に掲載いたします

【応募先】 〒131-0034 東京都墨田区堤通2丁目14番1号
東京都リハビリテーション病院 ほっとリハ編集部係宛

非公認キャラリハにゃんが行く!

都リハ病院

いっばいいっばい

ベテラン療法士編

その②

都リハ病院には「ベテラン療法士」がいっぱいいるって



本当かニヤ?

リハにゃん

開設当初から25年以上勤めている療法士もいれば、10年以上の療法士歴を持つベテラン職員が約半数になっているよ。

常勤職員 91名

経験豊かな療法士

経験年数	15年以上	10~14年	5~9年	5年未満
PT (理学療法士)	8名	11名	6名	16名
OT (作業療法士)	7名	9名	10名	9名
ST (言語療法士)	5名	2名	1名	5名
臨床心理士	1名	1名	0名	0名

都内ではトップレベルだね!

じゃー、「おじちゃんや「おばちゃん」の療法士が多いってこと?

何かメリットはあるのかニヤ?

どこの世界でも同じだけど、経験を積んだ職員が多いことは、とっても良いことなのだよ。



医師ニヤン

たとえば患者さんにとどのようなリハビリを実施したら良くなるか、経験を元に適切な判断をすることが出来る。

たよれるベテラン療法士

若手療法士達に的確な指導もできるのですよ。

それではベテランの技術、都リハだけの内緒におきたいニヤ。



リハにゃん君!

当院には都立病院として、リハビリテーションの教育や普及活動も行いう重要な役割もあるのだよ。

都リハ病院基本方針

- 1 リハビリ 医療の提供
- 2 教育・研究 活動の推進
- 3 地域リハ医療 福祉・介護の充実



だから、この技術は「学生実習の受け入れ」や「他の病院の若手療法士の実習指導」「療法士の学校での講義」等々で、皆様に提供しているのですよ。

ニヤーるほど、技術を受け継ぐためのお手伝いもしているのニヤ。ベテラン療法士がいっぱいいるってことは、患者さんのためだけでなく、社会の役にも立っているんだニヤ。

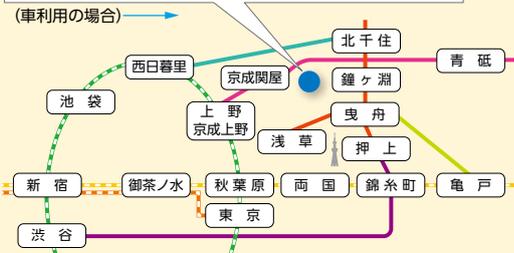
今日もまた、都リハ病院のこと少し詳しくなったニヤー。



交通案内



- JR山手線
- JR中央線・総武線各駅停車
- JR中央線快速
- 東京メトロ千代田線
- 東京メトロ半蔵門線
- 東武スカイツリーライン
- 東武亀戸線
- 京成本線



路線	乗車時間	乗り換え	徒歩	合計
南千住	都営バス	10分	2分	12分
錦糸町	都営バス	25分	4分	29分
浅草	東武スカイツリーライン	10分	7分	17分
亀戸	東武亀戸線	20分	7分	27分
北千住	東武スカイツリーライン	5分	7分	12分
京成七野駅	京成本線	12分	15分	27分

東京都リハビリテーション病院

東京都リハビリテーション病院 広報委員会

〒131-0034 東京都墨田区堤通2-14-1
TEL : 03-3616-8600 FAX : 03-3616-8699
http://www.tokyo-reha.jp



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

東京都リハビリテーション病院
ほっとリハ

平成30年1月1日(月)発行

編集後記

東向島駅界隈には、セイコーミュージアムの他、東武鉄道博物館や向島百花園、白鬚神社等があり、歴史と文化や自然に関わる施設が点在します。大人も子供も楽しめる町を堪能した後は、芸能人も並んでいる「レストラン カタヤマ」のステーキに舌鼓を打つのも良いかも知れません。